

令和元年第3回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。

6月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

6月14日、令和2年度国の概算要求に向けた要望活動を行いました。特に、令和元年度末及び令和4年春の避難指示解除目標の確実な実現、被害実態に即した賠償の実施、高速道路の無料措置の一括延長と医療費一部負担金等の免除などの生活再建支援の継続に加えて、復興財源と国の支援体制の長期的な確保などの7項目の最重点課題について、復興庁を始めとする関係省庁へ強く要望いたしました。

7月7日、広野町・楡葉町において、令和元年度双葉郡スポーツ交流大会が開催されました。双葉町からは、野球、バレーボール、剣道、グラウンドゴルフ、そして新競技のバスケットボールにエントリーしましたが、当日は雨の影響により3種目の競技が実施されました。

双葉町チームは、バレーボールとバスケットボールが優勝、剣道は2回戦進出と見事な成績を収め、選手の皆さんの力強いプレーに大変勇気づけられたところであります。

7月13日、14日には、栃木県那須町において、将来の双葉町を担う小・中・高校生の再会の機会を持ち、児童生徒同士や保護者同士の心のつながりと交流、絆の維持のため「集まれ！ふたばっ子2019」を開催しました。

全国各地から多数の小・中・高校生と保護者の皆さんが参加し、那須りんどう湖レイクビューで体験活動やレクリエーションを行い、交流を深めました。

また、保護者を対象に双葉町出身の料理研究家 伊藤政彦（いとう まさひこ）さんによる「ふるさと双葉 食べもの語り」と題した教育講演会が行われ、料理の実演なども交え、幼少時代に味わった料理の話に聞き入っていました。

さらに、閉会式では、町婦人会の皆さんによる「ふたば音頭」の実演と踊りの指導を受け、参加者一同が輪になって踊り、楽しい交流の時間を過ごしました。

7月27日から29日にかけて、国指定重要無形民俗文化財「相馬野馬追」が南相馬市で盛大に開催されました。昨年に引き続き、浪江町内で標葉郷の出陣式が行われました。双葉町騎馬会からは6騎の騎馬武者が標葉郷から出陣し、五郷の騎馬武者とともに雲雀ヶ原祭場地向けて進軍し、甲冑競馬、神旗争奪戦などに参加し、無事に凱旋いたしました。

7月30日から8月5日までの7日間、ニュージーランドで「双葉町生徒海外派遣事業」を実施し、高校生1名、中学生9名の計10名が参加いたしました。

生徒たちは、ホームステイや現地中学校での交流授業を通して生活習慣などの違いを体験しました。また、羊産業や大自然に触れたほか、オークランド博物館や戦争記念館を視察するなど歴史文化を学び、見聞を広めてまいりました。

7月31日、双葉町放射線量等検証委員会から、検証委員会における検証結果の中間報告が町に提出されました。検証委員会では、これまで4回の審議を重ねてまいりましたが、来年春の避難指示解除準備区域及びJR双葉駅周辺等の一部区域の避難指示解除などに向け、引き続き放射線量等の検証を続けているところです。

8月20日、いわき事務所において、宮城県仙台市の株式会社舞台ファームと農業の再生・新興等に関する包括連携協定締結式を行いました。今後、舞台ファームとの協働により、双葉町の大切な産業である農業の復興・創造を目指し、地元農業者との連携や新たな販路確保、担い手の育成等に関して、さらなる取り組みを進めてまいります。

9月1日、相馬市・新地町において、第72回福島県総合体育大会県民スポーツ大会相双地域大会が開催され、双葉町からは、壮年ソフトボール、9人制バレーボール、ソフトテニスの競技に出場しました。

暑い気温の中ではありますが、選手たちの元気あふれるプレーで、壮年ソフトボールがブロック準優勝、9人制バレーボールが第3位、震災後初出場のソフトテニスブロック準優勝という素晴らしい成績を収めました。

帰還困難区域における県道35号いわき浪江線及び国道288号の特別通過交通については、国と関係自治体等との調整が整ったことから、9月5日12時より、本町内の区間も車両通行証なしで通行できるようになりました。

これにより、国道6号の迂回路が確保され、国道6号や常磐自動車道と合わせて、浜通りの南北の基幹道路が繋がったこととなります。

最後に本定例会に提案いたしました、案件について申し上げます。

条例の制定が1件、条例の廃止が2件、条例の一部改正が3件、契約の締結が1件、特別功労表彰の同意が3件、令和元年度補正予算（案）が5件、平成30年度決算の認定が7件、委員の任命が1件、合わせて23件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。